

# 平成29年度 事業計画

## 1. 会議の開催

(1) 総会・・・平成30年5月末頃を予定

(2) 理事会・・・年に2、3回程度で開催の予定

本会の運営ならびに各種事業の企画・運営の検討を行う。

## 2. 事業の実施

### (1) 会員企業との共同研究、研究協力の推進

#### 1) 共同研究・受託研究に関する助成

会員企業からの共同研究費・受託研究費（間接経費10%を含めた研究費）の20%を、担当の高専教職員に寄附金として助成する。但し、1件20万円を上限とする。

#### 2) 技術相談ならびに学内の研究設備利用に関する会員への便宜

- ・ 技術相談は2回目以降も無料とし、研究設備利用は使用料に優遇制度が適用される。
- ・ 2回目以降の技術相談料については、担当の高専教職員に寄附金として助成する。

### (2) 産学官の人的、情報交流の促進

企業交流会・・・平成29年10月下旬～11月下旬を予定

- ・ 招待講演、会員企業の紹介『わが社の一押し技術』、高専教員の研究紹介、高専祭学科展示の優秀作品紹介と表彰 など
- ・ 懇親会での情報交流

### (3) 会員企業の技術向上に関する支援

#### 1) 企業技術者対象の講習会の開催

- ・ 年に1回の開催で企画し実施する。テーマ名等は未定

#### 2) 企業見学会の実施・・・平成29年7月または9月を予定 見学先は未定

- ・ 定員枠に余裕があるときは、教職員、学生に参加を呼びかける。

#### 3) 講演会の開催

##### ① 鈴鹿高専の事業との連携による講演会

- ・ 鈴鹿高専せれんでクラブ講演会・・・鈴鹿高専教員の研究に関わる話題提供
- ・ 平成28年度に採択された校長裁量経費に係る研究成果の報告会

##### ② 鈴鹿高専、SUZUKA 産学官交流会との合同企画による講演会

- ・ 鈴鹿高専RT（ロボットテクノロジー）・機械・材料サロン など

##### ③ 他機関との協賛に関わる講演会

#### 4) 会員企業への訪問による「出前講座」の実施

- ・ 企業会員からの希望テーマの申し込みに基づき、日時と講師を調整し実施する。
- ・ 講師謝金や旅費は依頼者の負担とする。

#### 5) メール等による企業会員向けの情報提供

#### (4) 人材確保の支援、会員企業PR

- 1) 企業ガイドブックの作成と就職希望学生への配布・・・平成29年11月上旬
  - ・「**企業ガイドブック2017**」を発行して、鈴鹿高専の本科4年生と専攻科1年生の就職希望学生に配布するとともに、本校教職員にも周知して、研究・教育に役立たせる。
- 2) 合同業界説明会での会員企業紹介・・・平成29年11月8日(水)午後を予定
- 3) 高専祭での会員企業紹介・・・平成29年10月21日(土)、22日(日)
  - ・会員企業全社のポスター掲示による紹介とともに、自社製品やその製造工程による一押し技術の紹介展示を行う。
  - ・高専祭実行委員会が作成し配布するパンフレットに本会の紹介を掲載し、会員企業のPRと共に、実行委員会の活動を支援する。
  - ・上記パンフレットに別途掲載で、自社の紹介を希望する企業会員を募る。
- 4) リーディング産業展への出展・・・平成29年10月27日(金)、28日(土)
  - ・本会の活動を紹介し、企業会員を募る。
- 5) 銘板への企業会員名の掲載
  - ・新規会員名を随時掲載していく。

#### (5) 高専の教育、国際交流の充実および学生との交流の促進

- 1) 高専の技術者教育に関する支援
  - ① エンジニアリング デザイン教育の充実
    - ・予算枠内で講師謝金と交通費(実費)を支援する。
    - ・エンジニアリングデザイン教育に関する講演〔平成29年5月8日(月)13:00~14:00〕  
講師：Noorani 教授 [Loyola Marymount University]  
3Dプリンターに関する話題提供
  - ② 知財教育への支援
    - ・知財講演会や知財教育に関わる課外授業の講師謝金費用を支援する。
  - ③ 高専祭学科展示作品の審査と優秀作品の表彰・・・平成29年10月21日(土)、22日(日)
    - ・4年生の創造工学の授業で創作した作品の中から、創造工学活動に努力して取り組み、創意工夫して観客を魅了する優れた作品を選び、表彰するとともに副賞を授与する。
- 2) 学生海外派遣支援
  - ・今年度より始まるグローバルエンジニアプログラムの「国際インターンシップ(海外就労体験)」に支援する。

#### (6) その他の事業

- 科学技術コミュニケーション・ネットワーク活動の支援
  - ・目的：小中学生に理科教育を支援し、企業の製品技術の紹介等により、科学と技術への興味を増進させる。〔企業の社会貢献活動の一環とした教育CSR〕
  - ・支援内容：理科・科学実験補助の学生への謝金、中学生エネワンへの支援